



TITLE:

穀倉證券論

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

---

CITATION:

河田, 嗣郎. 穀倉證券論. 經濟論叢 1916, 2(1): 57-74

ISSUE DATE:

1916-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/126947>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第一號

第二卷

## 論說

●收益遞減法則ノ發見及ビ改造  
●米價ノ騰落ト其調節ニ就テ(二、完)

## 研究

●近代都市ノ土地買收政策  
●穀倉證券論  
●本邦出生率増加ノ原因(一)  
●本多利明ノ經濟說(一)

## 雜錄

●經濟雜話(一)  
●米國ノ經濟的繁榮  
●戰爭利得稅新法  
●米歐爲替ト貿易  
●諸學校學生入學年齡ニ關スル統計  
●最近本邦鐵業ノ發達ニ就テ  
●最近ノ金融問題(二、完)  
●萊府大學ノ經濟演習  
●米國ニ於ケル外來白人ノ母語

法學博士 河上 肇

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戸 正雄

助教授 河田 嗣郎

講師 高田 保馬

法學士 本庄榮治郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 神戸 正雄

法學博士 小川 郷太郎

助教授 河田 嗣郎

醫學博士 鈴木 文太郎

工學博士 齋藤 大吉

トクトル 谷村 一太郎

法學博士 西 彦太郎

河上 肇

# 穀倉證券論

助教授 河田 嗣 郎

- (一) 倉庫證券一般
  - (イ) 倉庫證券ノ性質
  - (ロ) 倉庫證券ニ關スル制度
- (二) 穀倉證券ノ利害
  - (イ) 生産者ニ對スル利害
  - (ロ) 一般消費者ニ對スル利害

本篇ハ本誌前號(第一卷第六號)所載ノ穀物倉庫論ノ續篇ト見ル可キモノデアル。即チ吾人ハ茲ニ穀物倉庫論ニ於テハ穀物倉庫ニ關スル構造、種別、實例、組織上ノ利害、業務經營上ノ問題等ヲ論ジテ置イタカラ、今本篇ニ於テハ專ラ之ガ利用ノ方面特ニ穀倉證券ノ性質、其ノ發行ニ關スル制度其ノ國民經濟上ニ於ケル利害等ヲ論議シテ見タイト思フ。彼ノ米券ニ關スル問題等ノ自ラ其中ニ包含セラル可キハ勿論デアル。

## (一) 倉庫證券一般

倉庫證券ハ初メ英吉利(特ニ蘇格蘭)デ發達シタモノデアツテ、此國デハ他ノ諸制度ト同ジク、之モ全ク習慣ニ依ツテ漸次ニ出來上ツタモノデアル。英國ニ次デハ和蘭ニ於テ發達シ、十八世紀ニ大發展ヲ遂ゲタル東印度會社ト共ニ之ガ發育ヲ見ルニ至リ、一八二〇年代ニ國家ハ之ニ關スル統制ヲ試ルニ至ツタ。一八四〇年代ノ終リニ及ンデハ北米合衆國、佛蘭西、白耳譯等ニ於テ倉庫證券ニ關スル特別法ノ制度ヲ見ルニ至リ、一八六〇年代ニハ瑞西ノ諸州及ビ西班牙、一八六六

年ニハ奧太利、一八七一年ニハ伊太利、一八七五年ニハ匈牙利ガ之ニ倣フニ至ツタ。獨逸ニテハ其ノ發達頗ル後レ其ノ時代ニハ僅カニふれめん及ビはむぶるぐニ於テ倉庫證券ニ關スル或種類ノ規定ヲ見ルヲ得ルニ過ギナカツタ。(註)

### (イ) 倉庫證券ノ性質

廣義ニ於ケル倉庫證券 (Warrant) ナルモノハ商品ノ倉庫預リ人ヨリ發行セラルル文書デアツテ、ソハ預ケ人ヨリ預リ人ニ保管ノ爲メニ委託サレタル貨物ニ對スル受取證書タルト同時ニ、又其ノ證書ニ指定セラルル人(指名ナルト其他ノ方法ニ依ル指定ナルトヲ問ハズ)ニ當該貨物ヲ引渡ス可キコトノ約束ヲ包含スルモノデアル。而シテ此ノ證券ハ之ニ當該貨物ヲ代表スルモノトシテノ物權的性質ノ認メラレ、貨物ニ代リテ轉々流通スルヲ得ルモノトセラルルニ於テハ、時ノ商業取引ト法規トノ下ニソガ遂ゲ得ル發達ノ程度ニ從ヒ、頗ル重要ナル價值代表ノ具トナルコトガ出來ル。

元來倉庫證券ハ右述ルガ如ク倉庫ニ保管ノ爲メニ委託サレタル貨物ニ對スル受取證書タルニ過ギナカツタノデアルガ、後漸クニ商取引ノ便宜上、證券ガ貨物自體ヲ代表スルノ性質ヲ獲得スルニ至リ、其ノ證券ヲ以テスレバ貨物ノ賣買讓渡ヲ爲スヲ得ルノミナラス、之ガ質入ヲモ爲スヲ得ルコトトナリ、又在庫貨物ヲ受領セムトスル場合ニハ證券ト引換ニアラザレバ之ヲ爲スヲ得ザルモノトセラルルニ至ツタ。而シテ此ノ證券ハ手形ト同様ニ裏書ニ依リテ所有權并ビニ質權ノ移轉ヲ爲シ得ルニ至リ、白紙裏書モ亦行ハルルコトトナリ、今ヤ其ノ法律上ノ性質及ビ裁判上ノ手續

註=A. Simonson, Beiträge zur Lehre von Warrant unter Berücksichtigung der deutschen und englischen Verhältnisse. (im Schmollers Jahrb. f. Gesetzg. Verwalt. u. Volksw. 9. Jahrgang. 1885) S. 157.

等ニ關シテハ頗ル手形ト相似タルモノトナツテ來タ。(註)

右倉庫證券ノ性質ニ關スル定義トシテハ色々ノ説ガ行ハルルノデアツテ、試ニ A. Bayendörffer 氏ノ上ゲテ居ル所ニ就テ見テモ、凡ソ左ノ如キモノガアル

Ad. Heine 氏 (Tüb. Zeitschrift für die ges. Staatswissensch. 1867. S. 574) 倉庫證券ヲ定義シテ  
第三者ニ預託セラレタル商品ヲ代表スルコトニ依リ商業ニ役立ツ文書ナリト簡單ニ述べタ。之ニ  
對シテ C. Roscher 氏ガ (Bericht der Handelskammer in Zittau. 1871-75) 異説ヲ立テ、斯ノ定義ハ倉庫證券ノ主要ノ性質タル裏書ノコト、其ノ發行者ガ私人ナラズシテ公共倉庫ノ管理者ナル  
コト、證券ガ純然タル質權的ノモノデアツテ然カモンガ商品ニ對スル代表性ヲ有スルコト、裏  
書人ノ賠償責任ニ關スルコト等ヲ言明セザル點ニ於テ不完全ノモノデアルト指摘シタ。而シテ  
C. Roscher 氏自ラハ、倉庫證券ハ公共倉庫ノ管理者ノ發行スル指圖證券 (Ordre papier) デアツテ裏  
書ノ連鎖ニ依リ (然カモ辨濟不完全ノ場合ニハ裏書人ノ賠償義務ニ依リテ保障セラレ) 其ノ所持人  
ハ證券面ニ記載セラレタル在庫品ニ對シ質權ヲ有スルモノナリト説明シタ。

然ルニ又 Ebermann 氏 (Lagerhäuser u. Warrant. Wien 1876) 倉庫證券ハ倉庫ノ管理者ガ商  
品預ケ人ニ對シ發行スル讓渡シ得可キ受取證書デアツテ、其ノ所持者ニ對シテノミ在庫商品ハ引  
渡サレ、然カモ裏書ニ依リ當該商品ニ對スル處分權ハ轉々移轉セラレ、從テ證券ハ商品ノ代表物  
デアリ、證券面ニ記載サレタル商品ノ價值ヲ代表體現スル有價證券デアルト述ベテ居ル。

右等ノ内 C. Roscher 氏ノ定義ハ餘リニ狹義ニ失スルヲ否ムコトガ出來ヌ。何トナレバ先ヅ第

註 = A. Adler. Art. Lagerhäuser (Lagerscheine) im Hwb. d. Statsw. Bd. VI  
S. 308 fg.

一ニ倉庫證券ハ當ニ質權ヲ表ハスモノタルノミナラズ、實ニ在庫商品ニ對スル所有權ヲ表ハスモノデアリ、次ニハ其ノ發行者ハ當ニ公共倉庫ノ管理者ノミナラズ現ニぐらずじうノ倉庫ナドニ於テ多ク之ヲ見ルガ如ク一私人タルニ過ギザル者モ少カラズ、次ニハ又裏書人ガ賠償義務ヲ負フヤ否ヤハ之ヲ定義中ニ書入ルルノ必要ナキモノデ之ハ決シテ倉庫證券ノ特性ヲ爲スモノトハ云ヒ得ラレナイカラデアル。

茲ニ於テカ Bayendörffer 氏ハ倉庫證券ナルモノハ裏書ニ依リ讓渡シ得可キ證書デアツテ、法律若クハ習慣ニ依リテ特定セラレタル倉庫中ニ預託セラレタル商品ヲ代表スルコトニ依リテ商業ニ役立ツモノデアリ、然カモ商品ノ價值ハ此ノ代表ノ期間中ハ其ノ證券ニ移ルモノデアルト説明シタ。而シテ氏ハ倉庫證券ハ若シ之ヲ Knies 氏ノ分類ニ從ヒ一般ニ證券ヲ指圖證券ト所持人證券ト指名證券<sup>ナリ</sup> (Ordre=Inhaber=und Namenspapiere) 區別シ得可シトス<sup>ン</sup> (Vergl. C. Knies: Der Kredit S. 173) 手形ト同ジク正ニ第一ノモノ即チ指圖證券ニ屬ス可キノト説イテ居ル。ソシテ又倉庫證券ニハ在庫商品ノ所有權ガ包含セラレテ居リ、然モソハ裏書ニ依リテ讓渡スルコトガ出來、其ノ場合ニハ商品自體ガ讓渡セラレタルト同様ナル效果ヲ生ズルモノデアルガ、然シ倉庫證券ノ裏書ハ當ニ所有權ヲノミ移轉スルヲ得ルニ過ギヌノデハナク、若シ倉庫證券又ハ其ガ代表スル在庫商品ガ或ル債務ノ擔保ノ爲メニ使用セラルル場合ニハ唯ダ其ノ商品ニ對スル質權ヲ代表セシメ又之ヲ移轉スルコトガ出來ル。此ノ兩様ノ法律的效果ヲ生ズル點ヨリシテ倉庫證券ハ國ニ依リテハ二枚證券ニ分タレルノデアツテ、要スルニ裏書ニ此ノ特性アルコトハ倉庫證券ヲ手形ト區別セシ

ムル性質ヲ爲スモノデアルト解説シタ。(註)

以上各種ノ定義ハ何レモ完全無缺ノモノトハ云ヘナイケレドモ、斯ク之ヲ上ゲ來ルニ依リテ吾人ハ、倉庫證券ナルモノノ如何ナル性質ノモノデアるかヲ了解スルコトガ出來ルノデアツテ、之ヲ了解シ得ル以上、又更メテ新タナル定義ヲ茲ニ與ヘル必要ハナイ。唯ダ一言注意ヲ要スル事柄ハ、倉庫證券ニ關シテハ其ノ代表スル所ノ貨物ガ現ニ倉庫内ニ預託サレテ存在スル商品其物デアるか、將又在庫商品ト同種類同品質同數量ノ物タラバ足ルカト云フコトガ、頗ル重要ナル意義ヲ有スルト云フコト之デアル。而シテコハ何レトモ當事者ノ好ム所ニ從テ之ヲ定ムルコトガ出來ルケレドモ、證券ノ法律上若クハ經濟上ノ性質效用等ヲ論ズルニ就テハ、兩者其ノ何レナルカニ依ツテ少カラズ意義ヲ異ニスルモノタルヲ忘レテハナラス。

右ハ一般ニ倉庫證券ノ性質ニ就テノ概要デアルガ、然ラバ穀倉證券ナルモノハ如何ナルモノカト云フニ、之ハ唯ダ一般倉庫證券ノ一種類タルニ過ギザルモノデアツテ、其ノ代表スル貨物ガ穀物ト限ラレ、從テ其ノ發行者ハ穀物倉庫ノ管理者ニ限ラレテ居ルト云フダケノコトデアル。其ノ法律上ノ性質ニ至ツテハ一般倉庫證券トシテ認メラルル所以外、格別特殊ノ性質ヲ有スルモノデハナイ。我國ノ米券ノ如キモ米券倉庫ナルモノガ普通ノ倉庫トシテ商法ノ規定ノ下ニ之ヲ發行スルモノタルニ過ギナイノデアツテ、何等特別ナル規定ノ之ガ爲メニ設ケラレタルデモナク、唯ダ一般ノ倉庫證券ノ一種類トシテ取扱ハレテ居ルニ過ギナイ。

カルガ故ニ一般倉庫證券ニ就テ其ノ如何ナル性質ノモノナルカヲ明カニスレバ、輒チ穀倉證券

ナルモノノ性質モ理解セラルル譯デアル。唯ダソガ穀物ト云フ特殊ノ貨物ヲ代表スルト限ラレテ居リ、從テ其ノ流通ノ範圍、方法、之ニ伴フ利弊等ガ特殊ノ觀察ヲ要スルト云フ點ニ於テ、經濟上(特ニ農業經濟上)特殊ノ講究ヲ要スル次第デアル。

### (ロ) 倉庫證券ニ關スル制度

一ノ證券ガ或ル義務ニ對スル約束ヲ有シ、經濟取引界ニ於テ其ノ契約ニ依ル給付其物ト同様ニ取扱ハルルヲ得ムガ爲メニハ、其ノ約束ガ相違ナク履行セラルルデアラウト云フ信認ノ一般ニ行ハルルコトヲ必要トスル。此ノ信認ハ其ノ約束ガ廣ク知ラレタル個人若クハ會社ニ依リテ爲サレ、其ノ個人ナリ會社ナリハ能ク其ノ約束ヲ滿ス可キ意思ト實力トヲ有スルモノナルコトノ一般ニ信ゼラルル場合ニ於テ、最モ廣ク且ツ確實ニ存在スル筈デアル。

倉庫證券ニ就テ之ヲ見ルモ、其證券ハ在庫商品自體ト同様ニ取扱ハレ、之ヲ轉々流通スルコトニ依リテ商品自體ヲ賣買シ若クハ質入スルト同様ナル効果ヲ生ゼシムルヲ目的トスルノデアルカラ、其ノ發行者タル倉庫管理者ハ廣ク社會ニ知ラレテ居リ、又其ノ契約履行ニ對スル良心ト能力トノ確カナルコトガ一般ニ認メラレアルコトヲ必要トスル次第デアル。從テ倉庫證券ニ關シテハ其ノ發行者タル可キ倉庫ノ設立及ビ組織ノ如何ト云フコトガ頗ル重要ナル意義ヲ有スルコトニナツテ來ル。

凡テ倉庫ノ設立ニ關シテハ三ツノ主義ガアル。一ハ其ノ設立ヲ自由ニシ全ク私人ノ自主的發意ト責任トニ委スモノ、二ハ特別ノ法令ヲ定メ倉庫ノ設立及ビ管理ニ關シ國家ハ特別ノ手續ヲ要求



シ又立入りタル干涉ヲ試ルモノ、三ハ國家若クハ地方自治體ニ於テ自ラ之ヲ設立管理スルモノ之デア。英國ノ倉庫ハ第一者ノ例デアツテ全ク私人ノ自由設立ニ任ス主義デアリ、佛蘭西ノハ第二者ニ屬シ一八四八年三月二十一日ノ法令以來之ニ關スル特別法ノ制定ヲシテ居ル。然ルニ瑞西ニ至ツテハ州政府<sup>カントン</sup>自ラ倉庫ヲ設ケテ居リ又伊太利ニ於テモ一部分ハ國家一部分ハ地方自治體カ之ヲ設立シテ居リ正ニ第三者ノ例ヲ爲スモノデア。〔註〕

右ハ一般ニ倉庫ノ設立ニ關シテノ話デア。扱テ之ヲ穀倉ニ就テノミノコトニシテ見ルト、穀倉ハ曩ニ吾人ガ『穀物倉庫論』(本書第一卷第六號)ニ於テ之ヲ詳論シタルガ如ク、其ノ設立ニハ私人ノ自由設立ヲ認ムル米國式<sup>米國式</sup>ノモノト、特別ナル産業組合法ノ規定ノ下ニ之ガ設立ヲ許シ、又國家自ラモ之ヲ設立セムト試ミタ獨逸式<sup>獨逸式</sup>ノモノトガアルノデアツテ、其ノ主義ノ上カラ見レバ、ヤハリ右一般倉庫ニ關シテ認メラルル三者ノ區別ヲ見ル事ガ出來ル。而シテ米國ノ穀倉ハ曩ニ之ヲ細説シタルガ如ク純商の企業トシテ行ハレ、然カモ其ノ設立經營者ハ大資力ヲ有スル穀物輸出商人及ビ穀物ノ大取引商人デア。ルカラ、穀倉會社ニ對スル經濟界ノ信認ハ十分デアリ、穀倉證券ハ遺憾ナク市場ニ流通スルノデア。ル。

獨逸ノ穀倉ハ普魯西ニテハ國立ナノガ多く、ばいゑるん其他南獨地方ニテハ産業組合ノ組織ニ依ルモノノ多イコトハ『穀物倉庫論』ニ於テ詳カニ記述シテ置タ通りデア。ル。然シ獨逸ニテハ穀倉ノ事業ハ未ダ頗ル大イナル發達ヲ遂ゲ得タトハ云ハレナイノデアリ、證券發行ニ關スル方面ニ至ツテハ更ニ頗ル其ノ發達ノ幼稚ナルモノアリ、其ノ發達ヲ促スヲ可トスルヤ否ヤニ就キテス。今

猶ホ議論アル程デアルカラ、概シテ穀倉證券ニ關スル研究ニ於テハ獨逸ハ未ダ多クノ顧慮ヲ要求スル資格ガ無イノデアル。

次ニ我國ノ米券倉庫ハ所謂自由設立主義ノ下ニ立ツモノデアツテ、タダ商法ノ倉庫業ニ關スル一般規定ノ支配ヲ受クルノミデアルガ、『穀物倉庫論』ニ於テモ一言シタルガ如ク、近時産業組合ノ發達ニ伴ヒ其ノ組織ニ依ル穀倉モ追々設立サルルニ至ツタ次第デアルカラ、此方ハ勿論産業組合合法ノ支配ヲ免ルルコトガ出來ヌ。然シ我國ノ米券倉庫ハ事業トシテノ發達未ダ十分ナラズ其數モ少ク其ノ規模モ小ナルガ多數デアレバ、之ニ對スル經濟界一般ノ信用モ薄ク、其ノ發行ニ係ル證券(即チ米券)ノ如キモ唯纔カニ當該倉庫ノ存在スル地方ノ小區域ヲ限リ流通スルヲ得ルニ過ギヌ狀態デアル。

次ニ倉庫證券ニハ一枚證券制ト二枚證券制トノ別ガアル。蘇格蘭ノ倉庫證券ハ素之レ一枚證券デアツテ倉庫ニ商品ヲ預託スル人ハ之ニ對シテ一枚ノ受取證ヲ得、彼ハ之ヲ以テ商品自體ト同ジク其ノ賣却ノ用ニ供スルヲ得又之ヲ以テ質入ヲ爲スコトガ出來ルノデアルガ、若シ其ノ商品ガ質入セラレテアル場合ニハ之ヲ賣却スルコトガ出來ヌ。但シ其ノ商品ノ價格ガ質權價格以上ナル場合ニハ其ノ過剩額ニ對シテ更ニ倉庫證券ヲ發行セシムルヲ得ルノ便法ハ認メラレテ居タ。然シ後ニ至ツテハ蘇格蘭ニテモ此ノ一枚證券制ノ不便ナルガ爲メニ倉庫證券ヲ發行スル場合ニハ正副二枚トナシ duplicate ノ方ベ之ヲ weight note ト稱スルヲ見ルニ至ツタ。而シテ證券ガタダ一枚ノミ發行セタラレル場合ニハ、其ヲ以テ或ハ商品ノ賣却ノ用ニ供スルカ然ラザレバ質入ノ用ニ供ス

ルカ、二者其ノ一方ノ用ニシカ立ツルコトガ出來スガ、duplicateノ添フ場合ニハ warrant ハ之ヲ以テ質入ノ用ニ供シ weight note ハ之ヲ以テ商品賣却ノ用ニ供スルノデアル。サレバ此ノ制度ハ事實ニ於テハ二枚證券制ト云ハネバナラス。

佛蘭西ニテモ一八四八年ノ法律ニ規定サレタル所ハ英國同様デアツテ\*預ケ人ハ證券ヲ以テ商品ノ所有權讓渡ヲ爲スカ然ラザレバ其ノ質入ヲ爲スコトガ出來ルガ、其ノ質入サレテアル場合ニハ所有權ノ讓渡ヲ爲スコトガ出來ナカツタノデアル。然ルニ此ノ規定ノ不便ナルコトガ漸クニ認めラルルト共ニ、一八五八年五月二十八日ニハ規定ノ改正ヲ見ルニ至リ二枚證券制ガ採用セラレタ。\*\*\*即チ r         ノ外ニ warrant ノ名ノ下ニ一枚ノ證券ヲ附加セララルコトトナリ、此ノ兩者ハ之ヲ一緒ニモ又別々ニモ裏書ニ依リ移轉セシムルコトガ出來ルガ、分離セラレタル場合ニハ各々獨立ノ劬ヲ爲スノデアル。其ノ場合ニハ r         ハ所有權ノ讓渡、warrant ハ質入ノ用ニ供セラルルノデアツテ、然モ裏書ニ依リ warrant ヲ受取ツタ人ハ之ヲ登記スルヲ要シ、其登記ノ行ハレタル以上ハ質權債務ノ辨濟セラレタル上カ然ラザレバ其ノ金額ノ倉庫ニ供託セラレタル上ナラデハ商品ガ r         ノ所持人ニ引渡サルルコトハ莫イ。(註)

白耳義及ビ伊太利ハ佛蘭西ニ倣ツテ一枚證券制ヲ取ツタ。\*\*\*我國亦此制ヲ採用シタモノデアツテ、倉庫證券ハ預證券及ビ質入證券ニ區別セラレ(商法三五八條)、此ノ兩證券ハ其ノ記名式ナルトキト雖ドモ原則トシテハ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スルヲ得ルモノト定メラレ(二五八四條)、預證券ノ所持人ガ質入ヲ爲シタル後ハ兩證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スルコトガ出來ルモノトセラレテアル

\* 同法第三條—Il sera d  liv   aux d  posants des r  c  piss  s. Ces r  c  piss  s, extraits de registres    souche, transf  rant la propri  t   des objets d  pos  s, seront transmissibles par voie d'endossement.

\*\* 第二條及第三條—A chaque r  c  piss   de marchandises est annex  , sous la d  nomination de warrant, un bulletin de gage contenant les m  mes mentions que le r  c  piss  . Les r  c  piss  s et les warrants peuvent   tre transf  r  s par voie d'endossement, ensemble ou s  par  ment.

(三六四條第二項)。而シテ寄託物ノ返還ハ兩證券ト引換ニアラザレバ之ヲ請求スルコトノ出来ヌ  
(二七九條)ハ勿論デアル。

## (二) 穀倉證券の利害

凡テ倉庫證券ナルモノノ性質ト之ガ發行及ビ利用方法等ニ關スル諸國ノ制度ハ概要右ニ述ベタ  
通リデアリ、穀倉證券ナルモノモ其ガ倉庫證券ノ一種デアルト云フ點ヨリシテ其ノ性質及ビ制度  
ニ關スル事ハ右述スル所ノ外多ク加フ可キモノナキ次第デアルガ、扱テ今穀倉ノ設立盛ニ起リ之  
ニ入庫サレタル穀物ニ對シ穀倉證券ノ發行セラレ、其ノ證券ハ裏書ニ依リ、賣買其他ニ因ル所有  
權移轉ノ用ニ供セラルルノミナラズ、又在庫穀物ヲ轉々質入ノ用ニモ供セラレ、盛ニ流通利用セ  
ラルルト云フコトニナルトシテ見レバ、ソガ農生産者及ビ一般消費者ニ及ボス利害、引イテハ又  
廣ク國民經濟上ニ及ボス利害ニ就テハ頗ル研究ヲ要スルモノガアリ、之ニ關シテハ論爭亦鮮カナ  
ラザル次第デアル。吾人ハ以下先ヅ農生産者側ニ對スル利害ヲ致へ、次ニ一般消費者側ニ對スル  
利害ニ就テ少シク講究シテ見ヤウト思フ。

### (イ) 生産者ニ對スル利害

先ヅ農生産者ガ穀倉證券制度ノアルガ爲メニ受クル利益ヲ見ルニ、ソハ云フ迄モ莫ク彼等ガ之  
ニ依リテ簡單ニ資金ノ融通ヲ受クルヲ得ル點ニ存スル。即チ農生産者ハ穀物ノ收穫ヲ爲シタル後  
資金ノ必要ニ應ズルガ爲メニハ若シ穀倉ノ存在シナイナラバ直チニ其ノ穀物ヲ市場ニ賣却スルヲ

\*\*\* 二枚證券制 { France : récépissé et warrant.  
Belgique : Cédulo et warrant.  
Italie : fede di deposito et rota di pegno.  
註=1. Goldschmidt, Warrantrecht und Landwirtschaft in Frankreich. Berlin  
1907. S. 8-34  
2. Bayerndörffer a. a. O. S. 19-21.

餘儀ナクセラルル場合が多いノデアツテ、爲メニ穀物ハ其ノ收穫後ノ所謂出盛期ニ於テ供給過剩ノ爲メ價格ノ低落ヲ來スガ例デアルガ、今穀倉證券ノ取引圓滑ニ行ハルルニ於テハ、生産者ハ之ニ依リテ穀物ヲ質入シ以テ資金ノ融通ヲ得ルモノデアルカラ、穀價ノ低クシテ販賣ニ都合惡キ時期ニハ暫ク穀物ノ賣却ヲ手控ヘ、販賣ニ有利ナル時期ノ到ルヲ待ツコトガ出來、先ヅ穀物賣價ノ上ニ於テ多少ノ利ヲ得ルノミナラズ、他方農經營ノ方面ニ在リテハ、證券流通ニ依リテ得タル資金ヲ以テ諸種ノ必要ヲ充スコトガ出來ルノデアル。

加之穀倉證券ニ依ル資金ノ融通ハ、債務ノ擔保タル物が現ニ倉庫内ニ存在シテ居リ、又其ノ穀倉ニ信用アルヲ例トスルガ故ニ、普通ノ貸借ヨリモ容易ニ且ツ多少低利ニ之ヲ得ラルルノデアル。即チ單純ナル資金貸借ハ人的信用トシテ債務者ノ人物德義等ニ重キヲ置クニ反シテ、證券ニ依ルモノハ其方ノ顧慮ヲ省クコトガ出來、シカモ資金ノ貸借ハ在庫穀物ノ價格ノ三分二乃至四分三迄ヲ限リ行ハルルヲ普通トスルカラ、其ノ貸借關係ハ頗ル安全ナルモノデアル。斯ク證券取引ニ依リ貸借ガ簡單ニ行ハルルヲ得又其ノ頗ル安全デアルト云フコトハ、之ヲ利用セムトスル者ニ取リテハ債權者ニモ債務者ニモ共ニ便利ナルハ言フ俟タヌ。此ノ方法ヲ以テスレバ普通ノ貸借ヲ以テシテハ到底資金ノ融通ヲ得ルコトノ出來ヌ者モ容易ニ之ヲ得ルコトガ出來、又融通ヲ與フル者例ヘバ銀行ノ如キニ取テモ此ノ方法ニ依ルトキハ、債務者タル可キ人ト從來何等事務上ノ連絡ナク全ク初對面ノ人デアツテモ、其ノ證券ヲ發行セル倉庫ニシテ信用アル限リハ安神シテ之ニ融通ヲ與ヘルコトガ出來ル。特ニ證券ガ手形ト同ジク法律上特別ノ規定ノ下ニ立テ之ニ關スル法律關係

ハ裁判上其他ニ於テ特別ニ簡單ナル取扱ヲ受クルモノニ在ツテハ、右述ブル所ハ更ニ一層其度ヲ増スコトナル。

普通ノ信用貸借ニ在リテハ債務者ガ得ル信用ニハ限アリ然カモ其ノ限度ハ容易ニ到達セララルモノデアルガ、證券信用ニ在テハ此ノ限度ハ頗ル擴大サルル。蓋シ在庫品ノ存スル限リハ信用ヲ與フルニ何等ノ危險ガナイカラデアル。從テ生産者ハ證券信用ニ依ツテ先ヅ其ノ在庫品ニ對スル金融ヲ得之ヲ以テ更ニ新ナル生産ヲ爲スコトガ出來、其ノ生産ノ結果ニ對シテハ更ニ又證券信用ヲ得、又之ヲ以テ次ノ新ナル生産ヲ行フコトガ出來、順次斯ノ如クニシテ資金ノ運用ヲ容易ニ且ツ有効ニスルコトガ出來ルノデアル。一般ニ生産者ハ其ノ流通資本ヲバ常ニ循環流動スル狀態ニ置キ其ノ流動ヲ間斷セシメザル様ニシテ、其ノ齎ス利得ヲ最大ナラシムルニ努ムルヲ要スルモノデアルガ、今證券取引ノ行ハルルガ爲メニ彼等ハ其ノ所有ニ係ル貨物ヲ無駄ニ寢カシテ置ク必要ナク常ニ之ヲ活シテ使フコトガ出來、其ノ利用ヲシテ十二分ナラシムルコトガ出來ル。此事農生産者ニ取ツテモ固ヨリ同様デアル。

穀倉證券ガ農生産者ニ與フル右等ノ利便ニ對シテハ又他面ニ其ノ弊害ノ伴フヲ避クルコトガ出來ス。弊害トシテ認メラルル主ナルモノハ之ニ依リテ投機ノ助長セラレ爲メニ農生産者ヲシテ却テ大イナル難境ニ陷ラシムルト云フコト之デアル。由來倉庫證券制ノ行ハレ特ニ其證券ガ一定品質一定數量ノ代替の貨物ヲ代表スルモノナル場合ニハ、之ヲ取引所取引ニ使用シ投機賣買ノ手段ニ供スルニ便ナルモノアルガ爲メニ、倉庫證券ノ制度ヲ農業上ニ迄及ボサントスルコトニ關シテ

ハ常ニ此點ヨリシテ大イナル反對ガアル。即チ農民ヲシテ其ノ生産セル穀物ニ對シ資金ノ融通ヲ得セシムル必要ガアルトシテモ、ソハ單純ナル質入 (Lombardierung) ニテモ事足ル譯デアツテ、單純ナル質入ナラバ資金ヲ得ルニ差支ナキニ加ヘテ投機ニ走ル恐ガナイガ、今穀倉證券ガ割引ニ依リ轉々流通シ所有權ノ移轉乃至質入ガ之ニ依ツテ行ハルルニ至レバ、生産者ガ之ヲ投機ニ利用スルニ至ルハ避ク可ラザル所デアアル。斯クテ農生産者ヲシテ純商人ノ爲ス所ヲ敢テ試ントスルニ至ラシムルハ寔ニ危險ナ話デアアル。要スルニ在庫穀物ニ對シテ證券發行ノ行ハルルニ至レバ、即チ之レ又新ニ一ノ Börsenpapier ヲ造ルモノデアツテ、ソガ取引所ニ於ケル取引ニ惡用セラルルハ米國ニ於ケル先例ニ徴スルモ避ケ難イ所ト云ハチバナラス。而シテ之ガ爲メニ生産ニ附隨シテ離ル可ラザル關係アル商業取引上乃至之ニ依テ來ル所ノ穀物價格上ノ常調ノ紊亂サルルニ至ル場合モ無イデハナイ。(註)

獨逸ニテモ穀倉設定ノ計畫ニ伴フテ此ノ問題ノ論議セラレタル折 Der deutsche Landwirtschaftsbund ハ穀倉證券ヲ否認スル側ニ立チ、商法ノ規定スル所 (§ 302 § 303) ノ範圍ヲ超ヘテ倉庫證券取引ヲ擴張スルコトハ農産物ノ賣買ニハ不必要デアルト爲シ、裏書ニ依リ轉々流通ス可キ穀倉證券ヲ發行スルコトハ、投機ノ賣買ノ活氣ヲ強メ不健全ナル定期取引ヲ促進スルコトナリ、從テ價格決定上ニ不健全ナル狀態ヲ造リ出ス點ニ於テ甚シク農民ノ利益ヲ傷害スルモノナリト主張シタ。要スルニ獨逸ニテハ、穀倉組合ニ對シテハ其ノ有效ナル目的ヲ達セムガ爲メニハ證券取引ハ當ニ必要ナキノミナラズ時ニ或ハ大イナル危險ヲ伴生セシムルモノタレバ宜シク之ヲ排斥シ資金融通

註 = 1. Böhm. Kornhäuser. Stuttgart 1898. S. 28.  
2. Adler. a. a. O. S. 308 —

ノ爲メニハ普通ノ質入<sup>質入</sup>ヲ以テ足レリトス可キモノナリトセラレタノデアル。(註)

惟フニ warrant ハ利器タルニ相違ナキモ其ノ餘リニ銳利ナルガ爲メニ之ヲ利用スル者ハ十分ナル腕ニ覺ノアル者デナクテハナラス。元來手形取引ニ慣レズ努メテ之ニ手ヲ觸レザル様心懸クルヲ安全トスル農民ガ果シテ能ク之ヲ用ヒ得テ危險ナキヲ得ルヤ否ヤニ就テハ猶ホ大ニ研究ヲ要スルモノアルヲ疑フコトガ出來ズ。吾人ノ見ル所ヲ以テスレバ我國ノ事情トシテハ、穀物ニ對スル資金融通ノ方法ハ之ヲ米國風ニ穀倉證券ノ形式ニ於テスルヨリモ、寧ロ獨逸風ニ單純ナル質入ノ形式ニ據ラシムルヲ安全トスルデアラウト思フ。我國ニテハ猶ホ未ダ一般ニ商業上ノ手形取引スラ歐米ニ於ケルガ如ク頻繁且ツ圓滑ニハ行ハレ難イ實狀アル程デアリ、マシテ、農民ハ頗ル證券取引ニ關スル用意ヲ缺イデ居ルノデアルカラ、之ニ彼ノ商的ナル穀倉證券制ヲ布クガ如キハ、殆ンド農民ヲ益スルナクシテ、却テ唯ダ徒ラニ農民ニ對スル商人ノ地位ヲ強メ農業ニ對スル商權ノ壓迫ヲシテ益々強大ナラシムルニ過ギヌデアラウ。彼ノ米券ノ如キモ其ノ齎ス利益ハ固ヨリ之ヲ否ムコトガ出來ヌガ、爲メニ米穀ニ對スル授機ヲ助長スルコトノ弊害モ亦之ヲ認メナクテハナラヌノデアツテ、今後ノ問題トシテ此ノ制度ヲ助成ス可キヤ否ヤ、之ヲ助成スルトセバ弊害ヲ排除シ利點ヲノミ促進スルノ方法如何等ノコトハ十分慎重ナル講究ヲ積マナクテハナラス。

吾人ハ我國ニ於テ最モ安全ナル道トシテハ、ヤハリ獨逸ニ於ケルト同ジク餘リ大規模ナラザル然カモ頗ル健實ナル穀倉組合ヲ發達セシメ、而シテ穀物ニ對スル資金融通ノ方法ハ又南獨逸ニ於テ多ク其例ヲ見ルガ如ク、穀倉組合ト貸付金庫組合(若クハ信用組合)トノ連絡ヲ密接ナラシメテ



穀倉組合ニ於ケル在庫穀物ニ對スル貸付金庫組合ノ貸付ヲ行ハシムル方法ヲ探ルノガ最モ策ノ得タルモノダト信ズル。即チ同一地方ニ此ノ兩種ノ組合ガ發達シ組合員ハ同時ニ兩組合ニ屬スルカ、然カラザル迄モ兩組合ノ業務ノ連絡ヲ頗ル密ニシテ、穀倉組合ノ組合員ハ其ノ穀物ヲ入庫セル場合ニ一時之ヲ擔保ニ資金ノ融通ヲ得タイト欲スルニ於テハ、即チ貸付金庫組合ニ之ヲ入質シテ其ノ目的ヲ達スルヲ得ルコトナレバ、容易ニシテ同時ニ安全ナル融通ノ道ガ開カルルコトナルノデアアル。(註)

此方法ニ依ルトキハ一方ニハ農生産者ニ資金融通ヲ得セシムルノ利ハ之ヲ收メ得テ然カモ又同時ニ彼ノ穀倉證券制ニ伴フ弊害(特ニ其ノ投機助長ノ弊害)ヲバ之ヲ除去スルコトガ出來ルノデアアルカラ、我國ノ如ク農民一般ニ商的智能ニ乏シク米國ノ農民ノ如ク半ハ商人タルモノト比ベテ頗ル其ノ性狀ヲ異ニスル者ニ取リテハ、先ヅ此位ノ所ガ最モ手頃ノモノダト思ハルル。穀倉證券制ハ餘リニ銳利ニシテ聊カ我邦ノ農民ノ手ニ扱ヒ兼ヌルモノト見テ大過ナシト吾人ハ信ズルノデアアル。

#### (ロ) 一般消費者ニ對スル利害

以上ハ證券取引ガ生産者ニ對シテ有スル利害兩方面ニ關スル議論デアアルガ、然ラバ之ハ一般消費者ニ對シテハ如何ナル利害關係ヲ及ボスモノデアラウカ。或人々ハ生産者若クハ商人ニ有利デアアルコトハ直チニ一般消費者ニ不利デアアルガ如クニ改フル様デアアルガ、之ハ常ニ必ズシモ左様デアルトハ限ラス。時ニ或ハ斯カル結果ヲ齎スモノ及ビ場合モナイデハナイガ、又多數ノモノ及ビ場合ニ就テ見レバ、之有ルニ由リ生産者若クハ商人ガ其ノ商品ヲ賣却スルニ時期ヲ見計フヲ得ル

註=1. Böhm. a. a. O. S. 79-86.

2. Wygodzinski. Kornspeier (im Conradsch. Hwb. d. Staat. VI. Bd S 177)

餘裕ノ出來ルト云フコトノ爲メニ、彼等ハ其ノ商品ノ賣却即チ供給ヲシテ能ク之ニ對スル需要ニ適合應呼セシムルコトガ出來ル。需要ノ少キニ無闇ニ多クノ供給ヲシタリ、又需要多キニ却テ其ノ供給ヲ爲ス可キ手段ヲ有セザルガ如キコトハ、需給ノ關係ヲシテ頗ル不調子ナラシメ從テ當該貨物ノ價格ノ變動ヲシテ頻繁亂雜ナラシムルノデアルガ、今證券取引ノ行ハルルニ依リ能ク此ノ需要ニ對スル供給ノ適合ガ出來ルト云フコトニナレバ、價格ノ變動ハ從テ少クナリ、縱令變動シテモソハ需給關係ニ依ル自然ノ成行ニ合スルヲ得ルコトトナツテ亂調子ナル變動ヲ免ルルコトガ出來ル。而シテ此事ハ勿論生産者及ビ商人ニ取ツテモ利益アルコトデアルガ、同時ニ消費者ニ取ツテモ利益ナルモノト云ハナケレバナラス。

特ニ穀物ノ如ク之ヲ短キ期間ニ就テ見レバ需要ノ凡ソ一定シテ居ルモノニ在テハ、其價格ハ主トシテ供給狀態ノ奈何ニ依リテ支配セラルルモノデアルカラ、今農生産者ガ穀物ノ出盛期ニ資金ノ必要ニ驅ラレテ無制限ニ供給ヲ爲スコト無ク、證券取引ニ依リ一時資金ノ融通ヲ得テ供給ヲ需要實際ノ要求ニ應ジテ提供スルコトナレバ、其爲ニ穀價ハ平調ヲ得、出盛期ニ著シク下落シテ端境期ニ著シク騰貴スルト云フガ如キ狀態ヲ多少トモニ緩和スルコトガ出來、生産者ノ之ニ依リテ利スル所アルハ勿論、消費者モ亦決シテ失フ所ナク却テ價格ノ平均ヲ得テ利ヲ受クル譯デアル。

然シ右ノ利益モ若シ證券取引ガ惡用セラレ、投機的トナリ、需要ノ存在ヲ無視シ其ノ切ナル時期ニ却テ供給ヲ手控ヘ以テ價格ヲシテ生産者及ビ商人ニ有利ナル如クニ之ヲ人爲的ニ支配セムトスルガ如キコトニナレバ、ソレハ明カニ大ナル弊害ヲ齎スコトニナリ、消費者ガ爲メニ被ル苦痛

ハ決シテ鮮少デナイ。大體ニ於テ證券取引ハ之ニ依リテ生産者及ビ商人ニ利便ヲ與ヘ其ノ地位ヲ鞏固ナラシムルモノデアルカラ、茲ニ述ブルガ如キ弊害ハ生ジ易イノデアアル。特ニ倉庫業ガ大ニ發達シ證券取引ノ從テ頻ル廣ク行ハルルガ如キニ至ルニ於テハ、此ノ弊害ニ對スル注意ハ十分之ヲ嚴ニシナケレバナラヌ。此ノ獨占的勢力ニ依ル價格ノ支配ト云フコトハ工業製品ノ如ク生産ガ自由ニ伸縮セラルルモノデ又其ノ生産者ガ互ニ競争者タル地位ニ立ツモノニ在リテハ實際ニ表ハレ來ルコト割合ニ少ク、又表ハレ來ツテモソハ唯ダ一部分ノ貨物ニノミ限ラレ從テ其ノ勢力ヲ及ボス範圍モ狹イノガ常デアルガ、穀物ノ如ク需要ハ一定シテ居ルノニ生産ハ又自由ニ人爲のニ伸縮シ難ク主トシテ年ノ豐凶ニ依リテ定メラルルモノニ在リテハ、若シ穀物倉庫ノ頻ル發達シ證券取引亦大ニ盛ナルニ於テハ、生産者若クハ商人ハ之ニ依リテ多少故意ニ價格ノ釣上ヲ爲スコトモ出來易イ。此事特ニ凶年ニ際シテ供給ガ實際ニ需要ニ不足セルガ如キ場合ニ於テ甚シキヲ見ルデアラウ。凶作其他ニ依リ價格ノ騰貴スル場合ニハサナキダニ生産者ハ強氣ヲ持シ易イモノデアアルノニ、今又證券取引ニ依リ其ノ資力ヲ助クルニ於テハ、更ニ一層強氣ヲ増シテ穀物ノ賣惜ミヲ爲シ價格ヲシテ更ニ騰貴スルニ至ラシムルコトモ有リ得可キデアアル。而シテ又豐作ノ時ニ於テモ生産者ハ穀倉ヲ利用シテ穀物ノ貯藏ヲ爲シ然モ貯藏期間中ハ證券信用ニ依リ資金ノ融通ヲ得テ苦マヌノデアアルカラ穀物ヲ賣急グ必要ナク、故意ニ其ノ供給ヲ手控フルニ於テハ又多少トモニ穀價ノ下落スル勢ヲ防止スルヲ得ルノデアアル。

要スルニ穀倉及ビ其ノ證券取引ノ發達スルコトハ生産者ノ地位ヲ強ムルヲ得ルノデアツテ、其

事ハ一面ニハ經濟全般ノ爲メニモ有利ナル結果ヲ齎スコトニナルガ、又他面ニ於テハ其ノ利用宜シキヲ得ズ投機ノ風ヲ助長スル如キコトトナル場合ニハ、却テ少カラザル弊害ヲ醸スモノデアル。即チ穀倉ニ依ル證券取引アルガ爲メニ却テ穀價ノ變動ヲ大ナラシムル原因ガ又一ツ新ニ造ラルルコトニナリ、ソガ一般消費者ニ取ツテ不安不利ヲ生ゼシムルハ勿論ノコト、生産者モ亦動ト反動トニ依ル價格ノ亂高下ノ爲メニ其ノ私經濟ハ常調ヲ失ヒ結局不利ヲ被ラザルヲ得ナイノデアル。生産者并ビニ一般消費者ニ對スル利害兩方面ヲ右ノ如ク敲イテ見テ、結局吾人ハ、穀倉證券ノ制度ハ利器ハ即チ利器デアルガ其ノ餘リニ商的ナルガ爲メニ、之ヲ我邦ノ農業經濟ニ廣ク行ハシメントスルコトニ對シテハ頻ル躊躇セザルヲ得ナイ次第デアル。